

五、それぞれの文から、ことばを正しく使っているものを二つ選んで、その記号を○かこみなさい。

- 1 まどもに。
- ア みんなの考えを、まどもにすることがしようずだ。
 - イ 気がひけて、先生をまどもに見ることができない。
 - ウ あの人のことばを、まどもに受けて、失敗したことがある。
 - エ きょうのことばは、まどもにすばらしいものだった。

- 2 おをひく。
- ア 事実におを引いて、おもしろおかしく話している。
 - イ 流れ星が、長く長くおを引いてとんだ。
 - ウ ねこがおを引いて、だるそうにねている。
 - エ あのとときのきずがおを引いて、瘡気になった。

- 3 くじく。
- ア うっかりして石をふみ、足をくじいてしまった。
 - イ おおぜいの前にてると、あがつてすっかりくじいてしまった。
 - ウ すこしの失敗をくじいていないで、しつかりやりなさい。
 - エ かれのホームランは、相手のではなをくじいてしまった。

- 4 よそおう。
- ア 思い思いによそおつて、旅行にでかけるところです。
 - イ 勉強しているようによそおつて、マンガを読んでいる。
 - ウ とんぼがなかなかつかまらないので、どこまでもよそおつていった。
 - エ 父は用事のためによそおつてくるから、夕方はおそくなるそうだ。

六、次の語句の説明にあてはまる熟語を、あとから二つずつ選んで、()の中に記号で書きなさい。

- 1 同じ意味の漢字でできているもの。(例 出発⇨出る⇨発する) (1) () (2) ()
- 2 一方が他方を修しよくしているもの。(例 青空⇨青い⇨空) (1) () (2) ()

ア	暗	黒	イ	高	山	ウ	公	私
エ	乗	車	オ	白	線	カ	行	進

— や め —